

平成 2 5 年 1 1 月 1 2 日開会

平成 25 年度第 8 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第34号 鹿児島県中学校体育大会（総合体育大会、駅伝大会）出場補助金交付要綱の一部改正について</p>	<p>補助金額算定基準について明確な規定がないことから、その補助金算定基準を明確にするため要綱の一部を改正するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第35号 垂水市就学援助事務実施要綱の一部改正について</p>	<p>認定する際の要件に含まれる「傷病等の特別な事情」をよりの確に把握するために、申請時に病気・療養中の者の有無を記入するように様式を改正するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第36号 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について</p>	<p>これまで表彰は、例年2月に開催していた「市生涯学習のつどい」において行ってきたが、来年度から「生涯学習オープニングフェア」と合同で5月に開催することから、表彰の時期を改正しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第37号 平成25年度社会教育功労者の決定について</p>	<p>垂水市社会教育関係表彰規程に基づき、平成25年度社会教育功労者を決定するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第38号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について</p>	<p>社会教育法の改正に伴い、所要の改正を行う条例制定の議案を提出することについて、市長に意見を申し出ようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成25年度第8回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年11月12日（火）</p> <p>午前14時00分</p> <p>↓</p> <p>午前15時30分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 川 畑 千 歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩 寿</p> <p>社会教育課長 瀬 角 龍 平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第8回教育委員会定例会を開会した。
議案第37号と議案第38号の2件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会
一致で議決された。

2 平成25年度第7回教育委員会定例会及び第1回臨時会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

議案第 34 号 鹿児島県中学校体育大会（総合体育大会、駅伝大会）出場補助金交付
要綱の一部改正について

議案第 35 号 垂水市就学援助事務実施要綱の一部改正について

議案第 36 号 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について

議案第 37 号 平成25年度社会教育功労者の決定について

議案第 38 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出に
ついて

5 その他

6 閉 会

議事内容等

3 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
委員長	<p>10月29日、境小学校の「複式学習指導（算数科）」研究公開に参加した。県内に複式学級のある学校は218校で全体の約40%を占めると聞き、少子化の現状を考えるとさもありなんと思う。複式学習は教育委員になって初めて経験したが、今回の研究公開で良く理解できた。児童は、主体的学習の取り組み方を身につけていた。理想的で高いレベルの授業形態であり、2つの学年の授業を進めながら、定着の見届けまでしっかり確認されており、教師の努力は大変なものである。複式でも学習効果が挙げられると思った。</p> <p>11月2日、3日に開催された市文化祭では、展示コーナーに多くの作品が展示してあり完成度の高いものも多く見受けられたが、出品者の名前だけでなく、各グループの活動内容や話題など添えてあれば興味や理解が深まると思った。市内の各学校の展示は、もっと工夫が必要と思った。</p>
田原委員	<p>10月22日の臨時会から今日まで8つの行事に参加した。</p> <p>10月23日の市小学校陸上記録会、10月27日の市民体育祭は天気にも恵まれ、参加者も力を十分に発揮して、市民体育祭は4年ぶりの開催で満足していた。</p> <p>10月29日の境小学校研究公開は、複式の授業でありながら算数の基礎となる解き方がいろいろと提案があった。誤りも丁寧に取りあげて、算数の根本となるような授業で研究成果が発表されていた。</p> <p>垂水中央中学校の文化祭、市文化祭に参加した。中央中学校は身近な話題（受験・友情）を劇や発表に取り入れ、爽やかな発表であった。実行委員長の挨拶は立派で良かった。市文化祭は例年、出だしに来場者が少ないが、今年は大きく変動することなく盛り上がった。定着してきたと感じる。</p> <p>「かごしまの教育」県民週間で、水之上小学校と新城小学校、中央中学校を訪問した。いずれの学校も玄関の呼びかけや掲示物、授業の組み立てなど見て欲しいという姿勢が出ていた。良い取組であるが、参観者が少ないと感じた。中央中学校は私の他は一人であった。</p> <p>11月8日の市小・中合同音楽会は楽しませていただいた。小規模校、大規模校それぞれ特徴を活かし、最大限の努力や工夫がされて立派な発表であった。講師の講評では、各校毎にお褒めの言葉があり、うれしいだろうと思った。</p>
中谷委員	<p>10月16日は市環境センターの視察、10月22日は教育委員会臨時会、10月27日は市民体育祭、10月29日は境小学校研究公開に参加した。</p> <p>10月31日は主任児童委員の立場で、県下の民生委員250人の前で垂水市の小・中・高校生のことを30分発表した。</p> <p>11月1日は垂水中央中学校の文化祭、11月2日、3日の市文化祭では展示や舞台発表を見て、お茶のお点前をいただいた。11月5日は地域福祉九州大会に参加した。11月7日は垂水市子育て会議委員会に出席した。11月8日は市小・中合同音楽会参観、9日が肝属地区教育振興大会出席、10日は</p>

中谷委員

柗原小学校の学習発表会（かがやきフェスタ）を参観した。

10月12日には、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県の大川小学校を訪問した。全校児童108名中74人、先生も10人が亡くなった。私が見聞きしたことを伝えていきたい。何かが起きたとき、みんなで乗り越える力を持ちたいと思った。被災した女性から「防災意識を高めること」「自分の身を守ること」「避難先を家族で話し合うこと」を伝えて欲しいと言われた。

市文化祭展示の鑑賞時と柗原小学校のかがやきフェスタ会場で一生懸命に発表が行われている時、小さな子ども達が走り回っていた。親は近くにいたが注意することがなかった。親がしっかり対応しなければいけないと強く感じた。そして、親に知らしめることができないかとも思った。

葛迫委員

10月22日の臨時会出席以降、4回、会議等に出席した。

10月29日の境小学校研究公開では、複式の教育現場を初めて目にした。学ぶことに差を感じた。一部では複式授業は問題があると言われているが、状況に応じた教育であったり、問題を探して教育方法を考える教師と児童の緊迫感が伝わってきた。垂水市には多くの複式小学校がある。地形や社会状況等の現状は理解するが、解決する課題があると思った。

11月2日、3日の市文化祭では、小雨の影響で入場者を心配したが、例年より多いと思った。

国民文化祭が平成27年度に開催されるが、来年はプレ国文祭の開催が必要と考える。又、本年開催県の山梨県を視察、多くの人の意見を聴いたが、準備室が必要だと思った。山梨県では1年目1人で準備室を設置、2年目1増、更に1増したと聞いた。垂水市でも準備室を設置して、市民に盛り上がりを感じさせる必要があると思う。私の意見を市に伝えて欲しい。

11月8日の市小・中合同音楽会は53回を数えると聞き驚いている。複式の学校が多く、全校生徒で校歌を歌い、児童のつながりを感じた。これが音楽の持っている力かなと思った。

11月9日、肝付地区教育振興会総会に参加した。高山高校が閉校し、県立の楠隼中高一貫教育校が開設する話を聞くが、垂水市も垂水高校存続に向けた課題を抱えているので、いろいろな取組が必要だと思った。

教育長

地域が育む「かごしまの教育」県民週間に垂水中央中学校の文化祭を参観した。舞台発表を鑑賞する生徒の態度が立派で嬉しく思った。男女交互に椅子にかけていたのは良い光景だと思った。市長も参観していただいた。保護者の参観もあり、学校への期待の表れと感じた。

11月8日の市小・中合同音楽会には保護者や祖父母も来場していただいた。保護者以外の地域の方々にもっと来場してもらおう工夫をすれば良かった。来年度に向けて考えていきたい。講師でおいでいただいた県教育庁の田中真一郎先生には、講評と合わせて、オペラの2曲を聴かせていただいた。一流の文化・芸術に接する機会が少ないので、市内の小中学生に年1回でも接する機会を作り、夢を持ってもらいたい、職業についても考えてもらいたいと思っている。

保護者が当たり前のことを当たり前でできないと感じている。中学校の学級PTAの自己紹介でガムを噛みながら、又、頭にタオルを巻いたまま挨拶をするなど常識的なことができないのを見受けるので、親学を身に付

教育長	けるようにしないといけない。家庭教育学級の予算が無いのは県下で垂水市だけなので、来年度は少しでも予算化して各校で、又、全体で研修を行うなど、家庭教育について足がかりを作りたい。親がお互いに学べる場があれば良いと思うし、各校長もその場でいろいろと要請しやすいと思う。
田原委員	市小・中合同音楽会でも子どもの声が聞こえていた。講師のオペラの発表は声が良かった。子ども達に演劇を鑑賞させるのも良いと思う。
教育長	バレエとかも夢を持たせる意味で良いと思う。都会では劇団公演を観る機会も多いが、地方はなかなか難しい。
委員長	マナーについては保護者や大人がしっかりすれば、ひどい状況は生まれないと思う。市文化祭の舞台発表でも、状況を考えない来場者の態度が普通に行われているのが残念であった。家庭教育学級の予算化も早急に実施していただきたい。これは大事なことだ。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	10月9日から11月12日までの主な行事等について報告。 併せて、12月12日までの予定についてお知らせした。
4 議 事	議案第 34 号
	鹿児島県中学校体育大会（総合体育大会、駅伝大会）出場補助金交付要綱の一部改正について
学校教育課長	補助金額算定基準について明確な規定がないことから、その補助金算定基準を明確にするため要綱の一部を改正するものであることを説明
田原委員	中体連関係の補助とかP T Aとか、他に補助制度は無いのか。生徒の手出しはあるのか。
学校教育課長	手出しはあるが、様々な工夫をしながらやっている。
田原委員	補助基準は他市町村と比較するとどうか。
学校教育課長	他市町村は、それぞれの財政状況に応じて対応していると思う。
委員長	異議がないようなので、議案第 34 号は承認された。
	議案第 35 号
	垂水市就学援助事務実施要綱の一部改正について
学校教育課長	認定する際の要件に含まれる「傷病等の特別な事情」をよりの確に把握するために、申請時に病気・療養中の者の有無を記入するように様式を改正するものであることを説明
田原委員	個々の状況を必要とする理由は何か。

学校教育課長	審査にあたり、現様式だと個々の状況を聴き取りする必要が生じるケースも発生する。新様式では事前に正確な情報が把握できる。
田原委員	虚偽の申請を防ぐためには、診断書も必要と思うがどうか。
学校教育課長	申告に基づいて審査される。
中谷委員	市内の就学援助申請の割合を教えてください。
学校教育課長	手許に資料が無いので、後ほど報告する。(平成 25 年 10 月 1 日現在、小学校 16.75%、中学校 21.55%で微増の傾向)
委員長	異議がないようなので、議案第 35 号は承認された。
社会教育課長	<p>議案第 36 号 垂水市社会教育関係表彰規程の一部改正について</p> <p>これまで表彰は、例年 2 月に開催していた「市生涯学習のつどい」において行ってきたが、来年度から「生涯学習オープニングフェア」と合同で 5 月に開催することから、表彰の時期を改正しようとするものであることを説明</p>
田原委員	「市生涯学習のつどい」は無くなり、「生涯学習オープニングフェア」と一緒に実施するということか。
社会教育課長	「市生涯学習のつどい」を文化会館で行ってきたが参加者が少ないことから、「生涯学習オープニングフェア」とリンクさせて市民館で実施したい。
委員長	異議がないようなので、議案第 36 号は承認された。
	<p>議案第 37 号 平成 25 年度社会教育功労者の決定について (非公開)</p>
	<p>議案第 38 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について (非公開)</p>
5 その他	なし
6 閉会	